

第2回 東西外国語大学



交歓演奏会



大阪外国語大学グリークラブ/東京外国語大学グリークラブ

於：渋谷 東京都児童会館

1979.11.2(金)

御 挨 拶

本日はご多忙中のところ、われわれの演奏会にお越しいただきまして、ありがとうございます。両大学グリーメン一同、心から御礼申し上げます。今宵、ここに第2回東西外国語大学交歓演奏会を開催できますのも、ひとえに、諸先輩、皆様方の暖かいご助力、ご支援によるものと深く感謝しております。

今年の曲目はバラエティに富んだものを選び最後の合同演奏には、国際児童年にちなんで、組曲「子供の一年」を選んでみました。

両大学グリークラブ共、歌を愛し、より楽しく、より素晴らしい合唱を求めて、日々、練習に励んでおります。その成果を皆様方に少しでもお伝えできればと思います。

技術的にも音楽的にも、未熟ですが、今後とも、ご批判、ご支援下さり、末永く、私共グリーーを見守って下さるようお願い致します。

東京外国語大学グリークラブ
大阪外国語大学グリークラブ

部員一同

本学のグリークラブが、大阪外大のグリークラブを東京にむかえて、昨年につづき、第2回の交換演奏会を開催すると聞いて、何より嬉しく、衷心よりその成功を祈っています。

本年は特にこのグリークラブが、混声団として発足以来20年、男声団として発足して15年目をむかえるとか。全員心を新にして、これからの活動にむかっていこうとする部員一同の努力に敬意を表するとともに、関係各位の皆様にも今回の演奏会のみならず、今後の彼等の活躍をも、暖い目で見守ってやって頂きたいと願ってやみません。また、大阪外大と当校の体育系クラブ交流の外大戦のほかに、この二つのグリークラブの交歓演奏会が、他の文化系クラブの交流促進の役割をはたし、それらの先がけとなることを期待しています。

東京外国語大学学長 坂 本 是 忠

大阪外大グリークラブは、今回東京外大グリークラブとジョイントコンサートを行なうことになった。そして、今後もこのようなジョイントコンサートを続けるつもりであるときいている。

両外大ほど似かよった国立大学は他にない。日本の国際的地位の拡大・深化につれて、両外大生は世界の各地に進出し、国際的交流に携わっている。東京大阪外大定期競技大会は、すでに31年の歴史をもっている。この大会を通じて培われた両外大生の友情は、世界の各地でも花を咲かせている。願わくは、グリークラブにおいても、今後すえながくジョイントコンサートを持続されて、このような友情を育てていただきたい。

東京外大は本年で創立80周年を迎えられ、大阪外大もまた新しいキャンパスで開学した。今回は、この点で誠に記念すべきコンサートになるであろう。

この記念すべきコンサートが成功するように心から祈りたいと思う。

大阪外国語大学学長 伊地智 善継

I エール交換

大阪外国語大学

東京外国語大学

大阪外国語大学学生歌

Gaigo will shine tonight
 Gaigo will shine !
 Gaigo will shine tonight
 All down the line !
 Gaigo will shine tonight
 Don't they look fine !
 When the sun goes down
 and the moon comes up
 Gaigo will shine,
 Gaigo will shine !

Varsity ! Varsity !
 Osaka Gaikokugo Daigaku !
 Praise to thee we sing,
 Praise to thee our alma mater
 U Rah Rah !
 Osaka Gai-dai !

東京外国語大学校歌

天地のひらく あけぼのに
 プロメテウスの 炬のごとく
 いざや掲げむ 燃ゆる理想を
 大いなる視野 ひらけゆく
 ああ 東京外語大
 われらの行手 永久に輝く

若き精神を 相結び
 言葉の園に わけ入りて
 探り賞でなむ 真理の花を
 世界の同胞 一にして
 ああ 東京外語大
 われらの歩み 平和に満つる

長き歴史を いしずえに
 日々新たなる 力もて
 承けつぎ築く 文化の堂宇
 東亜の声を伝えつつ
 ああ 東京外語大
 われらの誇 さらに加えむ

II VIVA WESTERN !

大阪外大グリークラブ

1. Rawhide
2. High Noon
3. Tara's Theme
4. The Yellow Rose of Texas
5. Deguello
6. When Johnny Comes Marching Home

ふと机の上で眠っている地球儀に手をやる。ひととき大きく青く塗られた太平洋を境に、小指の先程の大きさの赤く塗られた国の隣——そう、まさしく隣に腰の括れた大陸が広がる。その括れた上にあるのがアメリカ。そしてその大きさを嘲笑うかの如くロッキーが、シエラネバダが、ミシシッピーが南北を貫く。

イングランドの、そしてヨーロッパの移民によって拓かれた、このアメリカ。やがて彼らが新天地を求め、西へと幌馬車を連れ、牛を追い、馬に乗り、そして歩く。ここから今日の物語は奏でられる。焼け付く様な砂漠、水ひとつない不毛の岩山、渦巻く激流、男たちはそれを体力と気力で乗り越える。しかしそこにはインディアンが待ち受けている。矢が雨の様に降り注がれる。夕闇迫る荒野を進軍ラッパも高らかに行進する騎兵隊。モニュメントバレーを疾走する駅馬車。そして南北戦争。その烈々たる開拓魂——フロンティアスピリットを高らかに謡い上げたのがウェスタンなのです。しばし目を閉じると、ラッドが、クーパーが、モンローが、そしてウェインが甦ってくるかのようです。

今宵は我々の新たな音楽への創造と挑戦を目と耳でお楽しみ下さい。

《 編曲者 》

井上郷子 1958年、神戸市生まれ。県立神戸高校を経て、東京学芸大学作曲科入学。高校在学中より作曲を始め、学芸大入学後、甲斐説宗氏に、氏の没後は金田潮児氏に師事。現在3年在学中。また、今年より近藤譲氏のもとでのゼミナールに参加、若い作曲家達と活動中。

《 伴奏者 》 高木 亘(tp), 橋本伸一(vn), 加登(g.), 上原(D.), 保川(p.)

高木 亘(tp) 1957年、群馬県前橋市に生まれる。10才よりホルネットを、12才よりトランペットを始める。前橋第2中学、前橋高校を経て現在東京学芸大学音楽科2年在学中。トランペットを斎藤隆之、大倉滋夫、北村源三、伊藤栄一の各氏に、声楽を小野田正之氏に師事。昨年、富士交響楽団とフンメルのトランペット協奏曲を協演。現在、富士交響楽団団員。

Ⅲ 日本の歌・世界の歌

東京外大グリークラブ

- | | | |
|-----------------|------------|---------------|
| 1. この道 | 作詞 北原白秋 | 作曲 山田耕作 |
| 2. からたちの花 | 作詞 北原白秋 | 作曲 山田耕作 |
| 3. 里の秋 | 作詞 斎藤信夫 | 作曲 海沼 実 |
| 4. 希望の島 | 作詞 小松玉巖 | 作曲 ジョーンズ |
| 5. Lore-Ley | 作詞 ハイネ | 作曲 ジルヘル |
| 6. Annie Laurie | 作詞 J. スコット | 編曲 L.O. エマーソン |
| 7. Abschied | ドイツ民謡 | |

合唱（我々グリーの歌が、はたして合唱であるかどうかは、まったくあやしいところですが）というものを考えてみますと、聞く方もそうですが、歌う方も楽しくなければいけないと思われまふ。合唱をするには、致命的といえる極度の人数不足とそれに伴う声量の不足、そして指導者の不在という困難から我々が立ち直るには、楽しくて、小人数でもなんとか歌えそうな曲から一步一步やっていくしかないということになったわけです。ですから、このステージの七曲も、そういう理由で選ばれました。これらの曲は、あまりにも広く歌われていますが、その魅力はやはり旋律の美しさにあると思います。“この道”、“からたちの花”、“里の秋”は、小人数にふさわしく、しみじみとした曲です。また、“からたちの花”のトップテノールは非常に高音ですが、それがきれいに浮き出るかどうかが重要です。“Lore-Ley”は、ハイネの詩のすばらしさゆえに、短いながら大へん歌いがいのある曲といえるでしょう。“希望の島”の作曲者ロバート・ジョーンズ（英1480～1536）の作品は宗教関係のものが数多く残されています。この曲はあまり宗教的な感じを与えませんが、明るい旋律で我々のもっとも好きな曲のひとつです。“Abschied”は、はずむような軽快なリズムが特徴です。“Annie Laurie”はスコットランドのもっともポピュラーな民謡のひとつで十九世紀中頃から伝わっています。以上七曲、何度もお聞きになっているでしょうが、我々にとってはまさに再起のステージであり、「このくらいの曲も、まともに歌えないのか！」と言われたいよう、部員一同精いっぱい歌いたいと思っております。



IV NEGRO SPIRITUAL

大阪外大グリークラブ

1. Wade in de Water
2. Steal Away
3. Little Innocent Lamb
4. Let Us Break Bread Together
5. Nobody Knows de Trouble I See
6. Go Down Moses

1690年夏、北アメリカに最初に輸入された黒人はたった20名だった。6000万人といわれるアフリカ黒人の大量強制移動はここに始まる。世界に類を見ないアメリカの宗教的民謡である黒人霊歌は、これら無数の黒人奴隷たちが、彼らの音感覚に新大陸で知った宗教素材を結びつけて作り上げたものである。1870年代の黒人学生によるジュビリーシンガーズのヨーロッパ公演などによりその価値を全平界に知られるようになった。その美しいハーモニーは独特の哀愁を秘め、五音音階ふうの旋律はニュアンスに滴ちて我々日本人にとって特に親しみやすいといえるものである。そして何よりもその強烈なリズムに裏打ちされた黒人特有の感情の表現は人々の心をとらえずにはおかない。特定の作詞作曲者によるのではなく民衆の中で自然に生れた魂の真の叫びともいうべき至純の音楽。＜霊歌＞と呼ばれる以所である。

V 組曲「子供の一年」

東外大、阪外大合同演奏
指揮 刀禰 泰史

人類はその文化の発生とともに音楽をその一つとして保有しつづけてきた。今もなおテレビマンガの主題歌などが、童謡にかわってきつつはあるが、小学校の音楽の時間などでは、唱歌がうたわれている。この組曲「子供の一年」は、童謡や小学唱歌を混ぜてつくられたものであり、「赤とんぼ」「海」などのなじみ深い曲に、小学校時代をはるか昔にした我も、さらには、もっと上の世代も、なつかしい幼時を思い出すであろうことを祈るものである。

—＜東京外大グリークラブ＞—

学生指揮 遠 藤 聡 (ドイツ 4)

Top Tenor

刀 禰 泰 史 (ドイツ 3)

花 田 康 紀 (ヒンディー 3)

楊 全 斌 (中 国 3)

○中 島 初 美 (朝 鮮 2)

Second Tenor

○西 野 史 郎 (中 国 3)

中 沢 幸 彦 (インドシナ 1)

Bariton

石 村 治 之 (ドイツ 2)

○坂 口 賀 朗 (ロシア 3)

上 坂 宏 哉 (アラビア 3)

Bass

○遠 藤 聡 (ドイツ 4)

服 部 正 興 (フランス 4)

中 郷 雅 幸 (スペイン 3)

林 哲 也 (スペイン 1)

外語大生おなじみの

中華 興 華
料理

外大通り・西ヶ原電停前

喫 茶 室

梶 野 園

TEL (910) 5760

西ヶ原 4 丁目 65

厭 離 庵

TEL (918) 5762

都電西ヶ原 4 丁目電停前
とんかつ 竹 邑 地下かん
たけ
むら
電
(910)
一
九
一
六
五

おなじみの店

サニ一

外語大前通り・西ヶ原

TEL (917) 0252

—＜大阪外大グリークラブ＞—

学生指揮 河 原 敬 (英語 4)

Top Tenor

○永 谷 勉 (ヒンディー 3)
 円 山 望 (ヒンディー 3)
 北 村 照 夫 (ロシア 3)
 石 原 守 (英語 2)
 内 野 秀 樹 (英語 2)
 保 川 一 治 (モンゴル 1)

Baritone

今 田 久 帆 (英 語 4)
 河 原 敬 (英 語 4)
 正 木 啓 (ウルドゥー 3)
 ○佐 戸 裕 彰 (英 語 2)
 塩 谷 茂 樹 (モンゴル 2)
 松 田 博 安 (イタリア 2)
 藤 井 哲 (ロシア 1)
 吉 金 正 裕 (英 語 1)
 梅 垣 誠 (英 語 1)
 秋 本 仁 (デンマーク 1)

Second Tenor

伯 井 泰 彦 (フランス 4)
 ○菊 隆 也 (インドネシア 3)
 永 山 隆 (英 語 2)
 入 江 一 隆 (フランス 3)
 北 野 忍 (インドネシア 2)
 米 田 伸 夫 (インドネシア 1)

Bass

片 川 徳 明 (ロシア 6)
 前 田 芳 秀 (ポルトガル 3)
 村 川 儂 一 (アラビア 3)
 ○上 原 聡 (英 語 2)
 山 内 清 之 (フランス 2)
 秋 田 泰 弘 (ビルマ 2)
 山 口 伸 (ドイツ 1)
 前 田 哲 男 (英 語 1)

・○印はパートリーダー

・尚、このメンバーリストは、今回出演する者のみを掲載しました。

・ () 内の数字は、東外大が学年、阪外大が何回生を示すものです。

着実な中国語の指導

正しい中国の理解を目指す

東京中国語学院

千代田区内神田1-2-7

(292)-0954

入学案内無料送呈

講師＝沢山晴三郎(主任)・南淳子

本間史・李華燕・土山伶子・佐々木静子外

54年度後期開講

(夜間・週2回・6ヶ月)

初級40名……………火・金

初級特編テキスト

中級40名……………火・金

中級特編テキスト

上級30名……………月・木

講読・作文・会話

◎入学希望者は授業見学に
おいでください。

◎お申込みはお早目に。

本校独特の「授業録音ノート」の
貸出して、仕事や学校の都合で
休んでも、落後させません校外学習会 (会社、官庁、団体、グループ、個人でもかまいません)
交通＝神田駅6分・大手町駅5分・竹橋6分(神田橋交差点スグ)

昨年10月20日、大阪中之島公会堂で、両外大グリークラブの交歓演奏会が復活しました。今年は、第2回目です。古いパンフレットを繰ってみますと、「1966年3月。大阪外国語大学グリークラブとの初めての合同演奏会。清水脩先生指揮で総勢80余名の大合唱。東京文化会館にて。」とあります。かれこれ10年以上の時がたちました。その後、昨年まで交歓演奏会が催されたかは、定かではありません。とにかく、両校の交歓演奏会が復活したのは、嬉しいことです。

どんな演奏会にも、必ず心に残る曲があると思います。昨年の交歓演奏会では、東外大の「雪と花火」、阪外大の「古典イタリア歌曲」が好評でした。

今年は、どんな曲が皆様の心に残るでしょうか。「メンタル・ハーモニーが奏でることができるだろうか」ステージに立つ前、グリーメンは、皆、期待と不安で緊張しています。でも、私達は、力の限り思いきって歌いたいと思います。

＜編集後記＞

編集の未熟さゆえ、ただ気ばかり焦って、一時はどうなるか不安でした。でも、どうやら、形らしいものになったようです。原稿の依頼を快く引き受けて下さった方々、ありがとうございました。また、御協力下さった印刷所、並びに広告主の方々に深く感謝致します。このプログラムが、演奏会をより楽しくお聴きになるための一助となれば幸いです。（Y，N）

（あ～あ、終わった、終わった。ハハハハッ!!）

・ 東京外国語大学

東京都北区西ヶ原 4—51—21

・ 大阪外国語大学

大阪府箕面市栗生間谷 2734

酒・食料品・タバコ

埼玉屋酒店

・ 北区西ヶ原 4—49

TEL 910—3674

落ちついた雰囲気

麻雀クラブ 安 城

北区西ヶ原 4 丁目外語大正門通り

TEL (949) 8 1 4 1 (パイヨイ)

学割・駐車場有り

